

講義名	文化観光論		
科目区分	学部フリーゾーン		
担当教員	山川 拓也		
開講期・曜日・時限	前期 火曜日 5時限		
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2018年度 人間社会学部 観光学科 / 2018年度 経済学部 経済情報学科 / 2018年度 経済学部 経済学科 / 2018年度 商学部 マーケティング学科 / 2018年度 商学部 経営学科 / 2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 / 2017年度 商学部 マーケティング学科 /		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		講義コード	25051

主題と概要

観光の捉え方は、時代の成熟の中で、かつての物見遊山・珍しいものを見ることだけではなく、地域のかけがえのない自然や暮らしが育んできた文化を楽しみ、育む姿勢へと広がっています。授業では、コミュニティツーリズムの観点から「文化観光」を理解し、進化する旅行者ニーズと観光創造について考えていきます。

到達目標

授業での内容を踏まえて、コミュニティツーリズムの観点からの「文化観光」に関する基本的な理解と知識を得る。進化する旅行者ニーズや新しい観光スタイルに関する気づきを得て、自分なりの言葉で表明・説明できるようになる。

提出課題

毎回の授業時に配布する『板書・要点記入シート』（出欠確認を兼ねるので、翌週の授業で提出してもらいます）
計画プレゼンテーションの内容に関するレポート（詳細については、授業の中で説明します）
期末レポート（詳細については、授業の中で説明します）

評価の基準

平常点（出欠確認を兼ねた毎回の課題提出と記述量、授業への取組み）： 30%
計画プレゼンテーションの内容および説明レポート： 35%
期末レポート： 35%
上記基準をもとにした総合評価とします。尚、正当な理由なき遅刻や早退、スマホなど電子機器類の無許可かつ私的な使用、私語・睡眠・着帽の継続、その他、教員からの指示に従わないなどについては、受講態度不良・授業妨害行為と判断し、上記とは関係なく成績評価に重大な影響を及ぼします。

履修にあたっての注意・助言他

「楽しく真面目に、真面目に楽しく」を心掛け、授業を行っていきたいと思います。ただ、これを実践して成功させようとする場合は、教員が一方的に授業を展開するのではなく、履修する学生の皆さんとの共同作業で創り上げなければなりません。大学という「学びの場」に相応しい環境を提供するためにも、皆さんの積極的な協力を宜しくお願いいたします。

教科書

未来を旅するHIROSHIMA.	未来を旅する編集会議	(株)ザメディアジョン	¥2,000+税	978-4-86250-
------------------	------------	-------------	----------	--------------

プリント資料及び参考文献

プリント資料： 各時間、「板書・要点記入シート」を配布し、講義形式の際にはパワーポイントを使用して授業を実施する。
参考文献： 講義中に適宜紹介する。

授業計画

- ガイダンス（科目ならびに授業の概要説明）
- 文化観光論の視点と論点 - 文化を対象にした観光とは
- コミュニティツーリズムの定義と概要
- 都市における文化観光とコミュニティツーリズム（理論）
- 都市における文化観光とコミュニティツーリズム（事例検証）
- 演習： 神戸における文化観光とコミュニティツーリズムを考える（グループワークによるプランニング）
- 演習： 神戸における文化観光とコミュニティツーリズムを考える（グループワークによるプランニング）
- 演習： 神戸における文化観光とコミュニティツーリズムを考える（グループワークによる計画プレゼンテーションの準備、質疑応答）
- 演習： 神戸における文化観光とコミュニティツーリズムを考える（グループ毎の計画プレゼンテーション、質疑応答、講評）
- 演習： 神戸における文化観光とコミュニティツーリズムを考える（グループ毎の計画プレゼンテーション、質疑応答、講評）
- 中山間地域における文化観光とコミュニティツーリズム（理論）
- 中山間地域における文化観光とコミュニティツーリズム（理論）
- 中山間地域における文化観光とコミュニティツーリズム（事例検討）
- 進化する旅行者ニーズと観光消費
- まとめ（文化を対象にした観光とは - 再論）

予習・復習

（予習）文化観光、コミュニティツーリズムに関係する話題・事例に関心を持ち、情報収集のアンテナを張るようしてください。
（復習）授業時に配布する『板書・要点記入シート』を整理し、復習に努めてください。出欠確認・課題を兼ねるので、翌週の授業で提出してもらいます。

備考

履修人数によって、演習形式の授業の進め方や内容を変更する場合があります。